

# 東海第2原発 「再稼働時期は未定」・・・真っ赤なウソ! 「来年9月までに原子炉起動」をねらう日本原電

日本原電は、「2022年12月に工事完了」として再稼働のための  
 工事を進めているくせに、未だに「再稼働を決めた訳ではない」など  
 と言っています。「再稼働する」と言えば、県や6市村との協議に入  
 る必要があるため、できるだけ遅くする作戦と見えます。

そのため、「原子炉の再稼働は再来年=2023年以降」と思われ  
 ている人も少なくないようです。ところが、原電が昨年4月に経産相、  
 規制委に提出した「使用前検査申請書」では、来年9月までに核燃料  
 を装填し、原子炉の起動=再稼働を行おうとしていることが明白です。  
 あと1年半もありません。そのなかにある「工事に関する説明書」からわかるのは、次  
 のことです。

工事の工程に関する説明書

項目	令和2年					令和4年				
	5月	6月	7月	8月	9月	8月	9月	10月	11月	12月
原子炉設備				△						
・原子炉冷却系統設備				△						
・燃料設備										
・廃棄設備										
・補助ボイラーに属する燃料設備										

- △ 材料検査、寸法検査、外觀検査、組立て及び据付け状態を確認する検査、耐圧検査、漏えい検査
- ▲ 機能・性能を確認する検査
- ◆ 総合的な性能を確認する検査

この辺りで、燃料棒装填と原子炉起動の可能性がある

この検査に「合格」すると、原子炉を起動したまま、「営業運転開始」となる

この検査の前に、燃料棒を原子炉に入れ、臨界状態までもって行く。再稼働！

⇒ 事故発生確率急増

<https://www.nsr.go.jp/data/000303817.pdf>

《「使用前検査」のメニュー》 一号検査：設備の材料、寸法、据付検査、二号検査：発電設備の検査(今回無し)、三号検査：原子炉機能・性能検査、四号検査：原子炉起動試験(今回無し)、五号検査：原子炉フル(定格)出力運転による総合試験